

第7回空港内の施設の維持管理等に係る検討委員会  
議事概要

日時：平成27年3月16日（月）10：00～12：00

場所：国土交通省航空局7階A会議室

【地方空港管理者との連携・支援の推進】

○空港舗装維持管理マニュアルについて

- ・施設の維持管理の適切な実施が航空機の安全運航に直結していることを空港管理者の維持管理担当職員が容易に理解できるよう、維持管理が適切に行わなかった場合に起こりうる事態の具体例を記載してはどうか。
- ・地方管理空港における維持管理担当職員の異動サイクルが短いことを踏まえ、舗装の破損箇所や状況及びその補修の実績を記録していくことの必要性を記載してはどうか。
- ・空港舗装の破損については、未だメカニズムが明確になっていない事象も存在しており、全ての対応策をマニュアルで網羅することは困難であることから、事象によっては、専門家と相談した上で適切に判断するというフローとすべきではないか。

○空港施設メンテナンスブロック会議について

- ・会議内容については、航空局側からの一方的な説明ではなく、各地方管理空港での課題を踏まえた意見交換やディスカッションの時間を多く確保すべきではないか。また、会議の参加者は、各空港で実際に維持管理を担当している職員が参加することが望ましいのではないか。
- ・各地方管理空港で課題が発生した際に相談できる関係を構築するためにも、各ブロックにおける舗装分野の学識経験者等に参加してもらうとよいのではないか。

【空港舗装の維持管理・更新における点検データの活用】

- ・各空港の規模や気候条件等に応じて、それぞれ異なった維持管理・更新の点検データの活用のやり方を行っていくという考え方でよいのではないか。
- ・日々の巡回点検と3年に1回程度の定期点検の結果が、相互に活用されることが望ましいのではないか。
- ・点検データの数値の判定においては、ある程度の幅に入っていれば問題がないと考え、それを大きく外れたものを何かの問題があるものとするばよいのではないか。
- ・気候や離着陸の運用状況などが、舗装の劣化の進行に及ぼす影響が大きいと考えられることから、それらも加味した要因分析を行ってはどうか。